



「地域とともに」のスローガンを掲げ 活躍する秋川消防少年団の取組について



東京都秋川消防少年団
団長 松村 博文

1 はじめに

秋川消防少年団は昭和 55 年 8 月に発足し、あきる野市・日の出町・檜原村の 3 市町村から結成されています。この地域は東京都西多摩地区に位置し、秋川流域 3 市町村と呼ばれる地域で、周りは秋川渓谷や三頭山など多くの山々に囲まれています。都心では味わうことができない自然豊かな環境のもと、規律訓練や応急救護訓練等、防火防災の知識・技術を身に付ける活動訓練を実施しています。

また、地域特性を生かした山岳救助訓練の体験や山火事防止看板設置等の活動も実施しています。

平成 30 年 4 月現在、団長と指導者 25 名、団員 38 名で構成され、団体行動や規律訓練等から社会性や協調性を学ばせ、各種訓練にお

いて防災行動力の向上に努めています。



応急救護訓練

2 秋川消防少年団の 主な取組について

(1) 地域特性を生かした山岳救助訓練の体験
はじめに述べたように、この地域は周りを多くの山々に囲まれており、毎年 5 月頃に地



入卒団式

域特性を生かした山岳救助訓練の体験を実施しています。

体験は、少年団指導者による指導のほか東京消防庁秋川消防署山岳救助隊員の指導及び安全管理のもと、実施しています。

内容は、命綱をつけて展張したブリッジ線を渡る訓練や、山岳救助用のバスケット担架を活用した傷病者の搬送訓練です。小学校低学年の団員にはフィックス線をつたいながらの登山を体験しています。この体験は山岳地域でしかできない地域特性のある活動であり、さらに基本的なロープの扱いから、結索を応用した救助方法の学習を兼ねることができ、普段から訓練している結索を実際に救助活動に活用することで結索の大切さを理解することができ、訓練意識の高揚にもつながっています。

また、平成28年度、29年度は同じ東京都内の町田消防少年団と合同で実施し、活動を通じてお互いの交流を深めることができました。

この活動では、山の楽しさだけでなく山の厳しさや怖さも学ばせることができ、いつもとは違う環境下で訓練することで、団員たちの意欲向上へつながっています。



山岳救助訓練の体験

(2)「東京国際消防防災展2018」への参加

平成30年5月31日から6月5日まで5年に1度の消防・防災に関する国内最大級のイベント「東京国際消防防災展2018」が東京ビッグサイトで開催されました。

国内外から多くの来場者が集まるイベントの中で競技会が行われました。東京消防庁管内の消防少年団が、平素の活動で磨いた知識や技術を披露する競技会であり、秋川消防少年団も参加しました。競技会は成績に応じて表彰され、秋川消防少年団は予選を勝ち上がり、惜しくも準決勝で負けてしまいましたが敢闘賞を受賞し、団員達も貴重な体験を通じて更に成長することができました。

また、この防災展では各種災害に備えた多彩な防災体験や火災・救急・地震など身近な危険に対する取組の紹介等も行われており、防火防災意識の高揚を図ることができました。

3 おわりに

秋川消防少年団は紹介した活動のほかにも、野外活動を通じて団員同士の信頼関係の構築を図っています。また、各市町村からのイベントの参加要請が多く、消防団操法大会やイベントの運営係員など地域に貢献する活動に積極的に取り組んでいます。消防少年団の活動の目標の中には「社会に役立つことをする。」という目標があり、各市町村が主催するイベントに協力する活動は、その目的を果たすことができ、団員たち自身の人間教育にもつながる活動となっています。これからも「地域とともに」というスローガンのもと地域の方々からの信頼を得られるよう日々尽力していきます。



防火祈願もちつき